



スポーツシュレ

Q【阪本克己】 スポーツシュレ推進施設を桜区のシンボリックな、地元からも愛されるような施設とするために、防災機能の役割や駐車場の開放、オープンカフェといったようなことが考えられるが、見解を伺う。

A【スポーツ文化局長】 本施設はアスリートのみならず、市民に開かれ、地域のシンボルとなる施設を目指したいと考えている。

具体的な機能については、地域の皆様が気軽に本施設を訪れ、スポーツを始めるきっかけやスポーツを続けるためのモチベーションになるような機能、万が一の際の地域における防災機能の役割を果たしていくことについても、検討を進める。



緑のヘルシーロード

Q【中山欽哉】 緑のヘルシーロード(見沼区東大宮)には、照明がなく非常に暗い場所があるので、安全対策を講じる必要がある。

A【市民局長】 本市が管理する道路ではないため、本市が街路灯を設置することはできないが、議員ご指摘のとおり、一部の区間については、通学路に指定されるなど、地域住民の生活道路として利用されている。

今後、緑のヘルシーロードを管理している埼玉県や水資源機構に地域の方からの街路灯設置の要望を伝えるとともに、本市としても、隣接する市が管理している公道を利用して公衆街路灯を設置することができるか、調査する。



Solar一む

Q【中山淳一】 校内教育支援センター(Solar一む)導入による成果と課題について伺う。

A【副教育長】 成果として、令和6年度10月末時点のアンケート結果によると、Solar一むを利用している児童生徒がいる学校は121校。学校からは、「教室に入れなかった児童が教室に戻ることができた。」「不登校だった生徒が登校できるようになった。」等の声があがっており、児童生徒や保護者の声からも、Solar一むが教室に入れない児童生徒の居場所として機能していることを実感している。

課題としては、Solar一むにおいて子どもたちの学習や生活の支援を行う人材の確保があがっている。



児童生徒の学習環境

Q【伊藤仕】 児童生徒の学習環境整備について、図書館で子ども達が勉強できる環境を整えるべきだと思うが、現状と対策について伺う。

A【副教育長】 議員ご提案の事項を踏まえ、中央図書館と北図書館のイベントルームを学校の定期テスト前や、夏休み期間中に、自習するためのスペースとして開放する。

これにより中央図書館では、現状の自習席が120席から190席に増え、北図書館では、自習席74席から112席に増える。

大宮図書館では、現状の自由席のレイアウトを工夫することにより、常時16席の増加をする。教育委員会は、子ども達が今後も利用しやすい図書館づくりを進める。

ねんりんピックさいたま市民応援団結成！

埼玉県・さいたま市初の「ねんりんピック」をオールさいたまで成功させよう！



ねんりんピック彩の国さいたま2026



令和8年に埼玉県とさいたま市で「ねんりんピック彩の国さいたま2026」が開催されることが決定しました。同大会の本県・本市開催は史上初となります。

これを受けて1月15日に、さいたま市市民活動サポートセンター(浦和駅東口前)で、さいたま市在住のねんりんピック参加経験者、自治会・スポーツ・高齢者福祉・大学・文化芸術関係者等々の幅広い有志が集まり、「ねんりんピックさいたま市民応援団」が結成され、応援団長に、昨年の鳥取大会でeスポーツ部門の本市選手団監督を務めた神口眞氏(北区)が選ばれました。

神口団長は「公・民・学の協働と共創のオールさいたま体制により、人生100年時代をリードする“翔んで埼玉大会”として、来県の皆様に喜んでいただけるような、ねんりんピックにしたい」と決意を語っていました。

第38回全国健康福祉祭埼玉大会(ねんりんピック彩の国さいたま2026)

- ◇主催:厚生労働省、埼玉県、さいたま市、(一財)長寿社会開発センター
- ◇共催:スポーツ庁
- ◇開催日程:令和8年11月7日(土)~11月10日(火) 4日間
- ◇参加人員:約60万人(観客含む)
- ◇選手役員:約10,000人
- ◇競技種目:スポーツ交流大会 約25種目(卓球、テニス、ゲートボールなど)
- ◇関連行事:ウエルカムイベント、文化交流大会、美術展、音楽文化祭、健康福祉機器展、地域文化伝承館、ファッションショーなど

県民公論は「さいたま市CS・SDGsパートナーズ」●本紙はSDGs推進の環境適正印刷方式で作成

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 県民公論 **電子版**

幸福度ランキング政令市No.1

12月市議会での清水勇人市長あいさつ



■ツールドフランスさいたま10回大会

11月2日に、記念すべき10回大会を迎えた、「J:COM Presents 2024 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」が開催されました。

メインアリーナにおいて、10回大会特別企画イベント「SPECIAL ACT supported by J:COM」が実施されました。

けやきひろばでは「さいたまるしえ」、さいたま新都心公園などでは本市主催の「サイクルフェスタ」、コミュニティアリーナでは子どものための「キッズクリテリウム」も開催されました。

■10区の個性感じる区民まつり

この秋には、市内各区で区民まつりが開催され、多くの市民の方々に賑わいました。10区それぞれの個性が感じられるイベントとして、市民の皆様にも、郷土の魅力と、地域の人と人との繋がりの強さを、改めて感じていただける機会になったかと存じます。

■市新庁舎へ令和13年移転目指す

さいたま市新庁舎整備等につきまして、11月1日から基本設計に着手いたしました。

この新庁舎を、本市の新たなシンボルとして、シビックプライドの醸成や持続可能な都市づくりの推進を象徴するような庁舎にしたいと考えております。

今後は、令和8年4月を目途に基本設計を策定いたします。その後、実施設計・建設工事に着手し、令和13年の移転・供用開始を目指して、着実に取り組んでまいります。

■ハミルトン市訪問で友好親善

姉妹都市提携40周年を迎えるニュージーランド・ハミルトン市に、さいたま市議会議員訪問団と共に、同市を10月20日から24日にかけて訪問してまいりました。現地ではハミルトン市長への表敬訪問を行いました。8月1日から8日まで、本市から派遣された生徒を受け入れていただいた、マタマタ・インターメディアイト・スクールを訪問するなど、更なる友好親善を図ることができました。

■COP29で本市の取り組み発信

11月11日から13日にかけて、アゼルバイジャン共和国の首都バクーにて国連気候変動枠組条約第29回締約国会議、通称COP29に参加してまいりました。

現地では、さいたま市主催のイベントとして、「E-KIZUNA high-level talks」を開催し、気候変動における自治体の役割やマルチレベルの連携の重要性について議論してまいりました。

また、環境省が設置したジャパンパビリオンの2つのイベントに登壇し、ゼロカーボンシティ実現に向けた本市の取組を発信し、環境技術の展示等を視察してまいりました。

今後も、2050年のゼロカーボンシティ実現に向けて取り組んでまいります。

■「さいたま市ネット安心相談」開設

11月1日にさいたま市インターネット上の誹謗中傷等に係る相談窓口、愛称「さいたま市ネット安心相談」*1を開設いたしました。メールでの相談のほか、夜間の電話相談も受け付けております。全ての市民等が、互いに思いやりを持ち、基本的な人権を尊重しつつ、インターネットの恩恵を享受できる、安全で安心な地域社会を実現できるよう、取組を進めてまいります。

■石破内閣への期待

11月11日には第2次石破内閣が発足しました。我が国は、人口減少対策をはじめ、子ども・子育て政策の強化、首都直下地震や南海トラフ地震などの大規模災害への対応など、重要な課題が山積しております。新内閣におかれては、市民が未来への希望を持ち、安心・安全に暮らしていけるよう、これらの重要課題への対策を着実に推進していただきたいと考えております。

■幸福度ランキング政令市1位

本市は「全47都道府県幸福度ランキング2024年版」において、20政令指定都市の中で、4年ぶりに1位に返り咲くことができました。*2

今後も、市民の皆様様に「住みやすい」「住み続けたい」と思ってもらえるよう、シンカし続けてまいります。

(市長あいさつ要旨 令和6年11月27日)



*1 ネット安心相談



詳しくは上をご覧ください



*2 幸福度ランキング

- さいたま市
- 京都市(京都府)
- 名古屋市(愛知県)
- 千葉市(千葉県)
- 川崎市(神奈川県)
- 仙台市(宮城県)
- 岡山市(岡山県)
- 横浜市(神奈川県)
- 静岡市(静岡県)
- 浜松市(静岡県)
- 熊本市(熊本県)
- 福岡市(福岡県)
- 広島市(広島県)
- 神戸市(兵庫県)
- 新潟市(新潟県)
- 大阪市(大阪府)
- 堺市(大阪府)
- 北九州市(福岡県)
- 札幌市(北海道)
- 相模原市(神奈川県)



令和6年12月定例会一般質問

■議長：帆足和之 ■副議長：西山幸代

■代表質問＝思想・信条を同じくする「会派」を代表して市政全般にわたって質問する。

■一般質問＝市民の声を、市長をはじめ執行部に届ける質問。議員の調査研究力が問われる。

- 「立憲」＝立憲民主・無所属の会さいたま市議団
- 「公明党」＝公明党さいたま市議会議員団
- 「さい自民」＝さいたま市議会自由民主党議員団
- 「自民市議」＝自由民主党さいたま市議会議員団
- 「共産党」＝日本共産党さいたま市議会議員団
- 「維新」＝維新の会さいたま市議団
- 「みらい」＝無所属みらい



川村 準 Kawamura Jun

県・市合体合同庁舎

Q【川村 準】 市長は令和6年8月に、大野埼玉県知事に対し現庁舎地での建替えを要望した。市として現状をどう捉えているか。

A【都市戦略本部長】 知事からは、市からの要望についてはしっかり受け止める旨の発言をいただいたと伺っている。引き続き県の検討状況を注視し、必要に応じて改めて本市の考えを伝えるなど、適切に対応する。

Q 県と市を合体した合同庁舎を作ってほしい。それを大野知事に市長から提案していただきたい。

A 市としては、再整備後の県庁舎の位置は現在地であるということ、県に求めている。引続き、その考えで、取組を進める。



松本 翔 Matsumoto Sho

岩槻城築城主

Q【松本 翔】 岩槻城の築城主について、諸説あり明確になっていない。開かれた公の場で議論をし、その成果を「さいたま市史」の中世時代の編さんに活用したらいかがか。

A【総務局長】 岩槻城築城主は諸説が並立している状況であり、公の場において広く議論をすることは、「さいたま市史」の編纂を進めるうえでも意義があると考えている。

一方で、新たな文献資料の発見など、学術的な成果としての進捗がみられないので、公の場において議論することに慎重な意見もいただいている。

市史刊行までに、取組を、引き続き検討する。



上三 信彰 Uesannobu Akira

西遊馬河川防災ステーション

Q【上三 信彰】 西遊馬地区河川防災ステーションの整備進捗と今後の予定について伺う。

A【建設局長】 河川防災ステーションの施設の一部として計画している水防センターについては、水防活動を目的に本市と国で連携し、整備をする。

今後の予定としては、国において、河川防災ステーション周辺の水路工事や水防センター建設のための道路工事、また備蓄資材の配備を行い、その進捗に合わせながら、本市においては、水防センターの実施設計と、その後の建設工事、また上面の整備などを順次行うこととしている。本事業の早期完成に向け、引き続き国と連携を密にしながら、取り組む。



堀川 友良 Horikawa Tomoyoshi

学びの多様化学校

Q【堀川 友良】 不登校対策について、学びの多様化学校とGrowth(グロウス)について、教育内容の部分での違いを伺う。

A【教育長】 「学びの多様化学校」は、不登校児童生徒の実態に配慮し、特別な教育課程を編成して教育を実施する文部科学大臣に指定された学校。「学びの多様化学校」動画→

不登校等児童生徒支援センターGrowth(グロウス)は、オンラインを活用し、児童生徒の在籍校の学習等を補う支援機関。

「Growth(グロウス)」動画→



永井 里菜 Nagai Rina

野田線第5踏切

Q【永井 里菜】 危険な踏切、野田線第5号踏切について、令和6年8月の地元要望書を受けて現在の状況と今後について伺う。

A【建設局長】 野田線第5号踏切は、歩道内の幅員が狭いことから、歩行者や自動車等が錯綜する状況だけでなく、踏切へ接続する北側道路の道路幅員も狭く、踏切との接続部が曲線となっていることなど、踏切の改良と併せて、接続する道路についても対策することが必要であるものと考えている。

今後については、改良に伴い用地の取得が必要となることから、測量等の作業を実施するとともに、早期改善に向けて鉄道事業者と協議を進める。



竹腰 連 Takekoshi Ren

与野中央公園アリーナ

Q【竹腰 連】 与野中央公園5,000人アリーナについて、中央区民にとっては大きな関心事であり、賛否両論ある事業であることから、住民投票を実施すべきと考える。

A【スポーツ文化局長】 本事業については、懸念する意見も、期待するという意見も、双方いただいている。これまでも様々な機会を通じて頂戴した意見を可能な限り取り入れながら進めてきた。

今後もより良い施設にするため、事業の進捗に合わせて施設整備の必要性や意義などを丁寧に説明し、可能な限りご意見を伺いながら進めてまいりたいと考えている。

そのため、本事業について住民投票を実施する考えはない。



松村 敏夫 Matsumura Toshio

国道463号歩道改修

Q【松村 敏夫】 原山交差点から花月交差点まで歩道が改修され、歩行空間の確保とともに段差が解消された。その先、花月交差点からプラザイスト前までの区間の改修について。

A【建設局長】 花月交差点(緑区原山4-7)からプラザイスト前は、歩道が車道より一段高くなっているマウントアップ形式構造となっている。このため、車両乗り入れ部の切り下げ部が、車道の高さと同じになっていることから波打ち状の歩道となっている。

「さいたま都市計画事業東浦和第二土地区画整理事業」の接続道路により、道路形状が変わることから、区画整理事業の進捗による現地状況の変化等をふまえ、改修について検討する。



関 ひろみ Seki Hiromi

飼い主のいない猫

Q【関 ひろみ】 飼い主のいない猫の去勢・不妊手術費等助成金、餌を与えている人への指導について。

A【保健衛生局長】 市内に生息する飼い主のいない猫に対し、去勢手術又は不妊手術を行うことを奨励し、助成金の上限は、おす1匹4,000円、めす1匹8,000円、感染症及び寄生虫病に係る検査、予防接種及び治療処置が1,000円となっている。

市民から不適切な餌やりについての相談が多数寄せられているので、職員による直接指導や現在の周知方法(市ホームページ、チラシ、看板)に加え、より効果的な周知方法を検討する。



浜口 健司 Hamaguchi Kenji

地震体験車

Q【浜口 健司】 地震体験車(起震車)の運用、地震体験車の増台について。

A【消防局長】 抽選の結果、地震体験車を利用できない団体があることから、繁忙期の地震体験車の運用方法等について、より多くの方にご利用いただけるよう検討する。

議員から提案のあった地震体験車の増台については、繁忙期における運用として効果があるものと捉えている。

また、増台することで、市内小中学校の防災訓練や防災イベント等への対応も拡大でき、市民の防災意識の向上に非常に役立つと考えている。今後の運用実績を踏まえ、検討する。



吉田 一郎 Yoshida Ichiro

北大宮駅

Q【吉田 一郎】 北大宮駅と土手町のガードを地下で直結し、エレベーターを設置できないか。平成30年度に同様の提案をしたが、東武鉄道株式会社からの回答はどうであったか。

A【都市局長】 東武鉄道からは、駅舎側にエレベーターを含む、昇降施設を設置できるスペースが確保できないことから、実施は困難であると伺っている。

また、土手町ガードと北大宮駅のホームの距離も100メートル程度あり、エレベーターを設置し、地下道で直結することは、施工方法や整備費の面からも、困難であると考えている。

東武鉄道からは、実現が難しいという回答をいただいている。



稲川 智美 Inagawa Tomomi

木になる紙

Q【稲川 智美】 「木になる紙」は、「間伐材」を有効活用して商品開発した紙であり、森林整備が進んだことによる従事者の収入の増加が見込まれる。林業への貢献に繋がるこの取組を活用すべきと考えるが市の見解は。

A【経済局長】 『木になる紙』は、放置された森林の間伐し、間伐材を使用して製品化し、その製品を購入することで、森林の間伐費用へ還元する仕組みとなっている。『木になる紙』については、「さいたま市 グリーン購入 推進基本方針」に適合した環境物品の一つとして、購入促進を図っている。木材利用推進の観点から『木になる紙』等の取組について積極的な情報発信に努める。

令和6年12月さいたま市議会一般質問特集 注目質問・答弁抜粋・要約(文責本紙)

*参考QRコードは本紙が選択